

G O G O ! 進路 2

第 2 号 55 期
2022 年 6 月 9 日 発行

THEME 科目選択をしよう!

【基本的考え方】可能性を広く残す選択を!!

今回の科目選択では皆さんが今後入試等で使う科目を考えて取る必要があります。
そのため志望大学や学部を考え、入試科目を調べましょう。進路は一人ひとり違うので、自分の進路をしっかり調べたうえで、安易な選択をしないようにしてください。(ただし選択希望者が少ない科目は、閉講する場合があります。)

【国際文化科】



(類型 A) 基本的に国公立大学を志望する人向け

A 群選択では、8 科目から 7 科目を選択する必要があります。

*たいていの場合、「古典演習」・「倫理」・「英語語法演習」のうち、1つを選べないことになります。

【パターン①】

京都・大阪・神戸・地方難関大等は、共通テストの公民は「倫理・政経」のみ選択可。
そのため「倫理」「政経演習」は必須。(受験可能性大学の「倫理・政経」が必須か必ず調べる。)
残りひとつを「古典演習」or「英語語法演習」から選択。
(英語は授業も多いので、「古典演習」を選択することをお勧めします。)

【パターン②】

大阪公立大・大阪教育大などの地方国公立大は、共通テストの公民は「倫理」または「政経」の選択が可能。
「倫理」をとらないで、「地歴 B」1 科目と「政経」で受験が可能のため、
「古典演習」と「英語語法演習」を選択可能。

【パターン③】

受験科目で数学が I A のみである(= II B がいない)から、数 II B を選択せずに、
「古典演習」・「倫理」・「英語語法演習」をすべて選択可能。

(類型 B) 私立専願 OR 受験科目の少ない国公立(非常に少ない)を志望する人向け

国公立大学のなかでも受験科目が少ない場合なら「類型 B」でも受験は可能ですが、そういう国公立大学は少ないので、いざ受験だという時に困ることもなかりかねません。(特に後期受験まで頑張った場合、受験できる大学が少なく困ることも・・・)

(類型 C) 理系・準理系の大学を志望する人向け

必修選択社会の選択のしかたによって A 群選択科目が変わります。

「地理 B」を選択した場合は、「地理演習」を選択する必要はありません。「地理 B」だけで共通テストに対応できますので、選択科目の中から好きなものを選択できます。

【総合科学科】



(類型 I) 理系受験を志望する人向け

必修社会については「世界史 B」、「日本史 B」、「地理 B」、「政治経済 2」から選択できます。
しかし「世界史 B」「日本史 B」については「世界史演習」「日本史演習」を選択しないと、授業内で教科書の内容が完結しません。しかしこの類型では「世界史演習」「日本史演習」は選択できません。
そのため「地理 B」を選択することをお勧めします。
(*ただし、2 年で「地理 A」を選択していることが必要)

(類型 II) 数 III のない理系大学を志望する人向け

一部の地方大の農学部、生命環境、看護系学科(*大学による)などが当てはまります。しかし数 III を選択しないことにより、当然受験の幅は狭まります。
*私学でも数 III が必要なパターンの方が多いです。 *工学系学部はほぼ数 III が必須です。

(類型 I、II 共通)

工学部系を志望する場合は、「物理」・「化学」を選択。工学部以外では、多くの学部で「物」・「化」・「生」の選択が可能だが、生物系・生命系・化学バイオ系学科で「生物」を指定している学科がある。調べる際、共通テスト科目だけでなく、二次試験の科目もちゃんと調べること。
(*「物」「生」の選択は 2 年後期からのスタートです。)

(類型 III) 文系での受験 OR 準理系での受験を志望する人向け

A 群選択では自分に必要なものを選択してください。ただし京都・大阪・神戸や地方難関大を目指すなら、共通テストの公民に対応するために「倫理」「政経演習」を選択する必要があります。

【最後に・・・】

受験は一般入試後期まで頑張る!という気持ちで、千里高校の卒業生は多くの合格、そして自己実現を勝ち取ってきました。入試科目を選択する際には前期入試だけでなく、後期入試まで考えて出来るだけ受験の選択の幅を残すことが今回の科目選択では大事になってきます。1 年後の自分が後悔しないように、しっかりと共通テスト・前期入試・中期入試・後期入試の受験科目をしっかりと調べて科目選択しましょう。(*中期・後期は入試がない場合があります。)

📄 そのために宿題!!

受験科目調べを宿題にします。別紙プリントを 6 月 24 日(金)科目選択のプリントと一緒に担任に提出しましょう。



GOGO! 進路2 第3号 55期

2022年6月16日発行

THEME お金など大切な話。



受験から入学前までに100万円から200万円までのまとまったお金が必要とされています。

出費する内訳は、大きく分けて4つあります。①出願費用、②入学した大学への納付金、③入学しなかった大学(いわゆるすべり止めの併願校)への納付金、④教科書・教材費です。特に大学への納付金は、国公立と私立で金額に大きな差があり、私立は100万円を超えることも珍しくありません。そもそも、出願のために私立大1校あたり約35,000円、国公立大の1次試験である大学入学共通テスト(3教科以上)は18,000円、国公立大2次試験に17,000円が掛かります。併願校を増やせば増やすほど、出費がかさみます。しかもほとんどの場合、その費用を一括で払う必要があります。受験の前から、計画的に費用の相談を保護者の方と進める必要があります。

TOPIC1 どれだけお金がかかるのか計算してみよう。

【高校在学中・進学前】

(受験料)私立(万×受験回数 回) + 国公立(万×受験回数 回) = 万円
+ 共通テスト受験料 = 1.8 万円

(入学金) 万円

(前期授業料) 万円

★ 合計 万円 (*二重傍線の合計)

【進学後】

(前期授業料) 万円 ・1年目は入学前に支払っていることが多い。

(後期授業料) 万円

(施設管理費・実習費等その他必要経費) 万円

★ 合計 万円 (*太線の合計)

《私立大学校推薦型入試》
受験する場合は2~4回程度が多い。
ただし受験しない生徒の方が多い。

《私立一般入試》
6回程度受験することが多い。(個人差大)

《国公立一般入試》
前期・後期の2回受験することが多い。



TOPIC2 日本学生支援機構奨学金(JASSO)について。



奨学金:進学に必要な能力と意欲を持つ生徒が経済的理由により進学をあきらめることなく、自分にあった進路を選択できるように経済的に支援していく制度のこと。

【奨学金の種類】

給付型奨学金 もらえるもの(返さなくてよいもの) 1万円~8万程度/月

申請するには家庭収入(住民税非課税又はそれに準ずる世帯)や成績など厳しい条件がある。

*家計基準、国公立 OR 私立、自宅通学 OR 自宅外通学などで給付額は異なります。

貸与型奨学金 返さなければいけないもの(所得による制限有)

一種 : 利子無し。評定平均値(「3.5」)以上が条件。所得制限有。 上限:64000円/月
(ただし評定平均値の条件に関しては、経済的理由で緩和されることがある。)

二種 : 利子(約0.1~3%)有り。所得による制限有。 上限:120000円/月

*専門学校によっては日本学生支援機構奨学金を借りられないところがあります。

*その他家庭状況によって市の福祉制度や企業による奨学金などもあります。また進学先によっては独自の奨学金制度を設けているところもあります。



もし第一種と第二種の両方を満額借りたとしても、毎月の返済額が4万円近くにもなります。奨学金が借金であることを自覚し、将来を見据えて適正額を借りるようにしてください。

TOPIC3 評定平均値とは。

全教科の5段階の成績をすべて足して科目数で割り、小数点第2位を四捨五入して、評定平均値を出します。5段階の評定(成績)は、定期考査や授業における平常点を加味して各教科の先生方が算出します。日々の授業や復習をコツコツ頑張らないと、定期考査の成績は上がりません。つまり評定平均値を上げたい人は、3年間に渡り毎回の定期考査を頑張る必要がある、という事です。

また、日本学生支援機構(JASSO)の奨学金を申し込む時以外に、評定平均値は各大学が推薦入試の出願基準として使うこともあります。

自分の評定平均値を計算してみよう!!

本日担任の先生から「1年次成績一覧」が配布されるので、早速自分の評定平均値を計算してみよう。